

植物群落の移り変わり

年月を経て



湿原の植生
(ヨシ・セマアゼスゲ群落)



谷の樹林 (ミズキ群落)

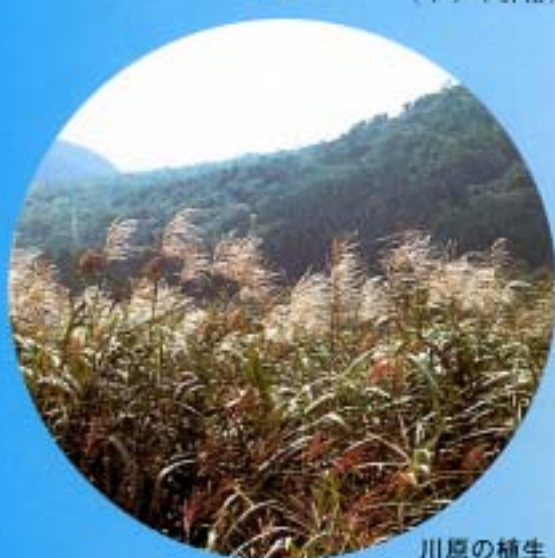


川辺の植生
(ヤナギ群落)

スギ植林



林



川原の植生
(オキ群落)

湿潤

植物群落は生育地の温度(気温)や水分、土壌条件など環境に適応した複数の植物が集まって成り立っています。そして、年数を経ながら群落は草原から藪へ、藪から森へと変化していきます。この移り変わりを群落の推移または遷移といいます。災害や人の開発行為などで、推移は停止したり逆もどりすることもあります。



低山地の樹林

(シデ群落)



山地の樹林

(ブナ群落)



尾根の樹林

(コナラ群落)



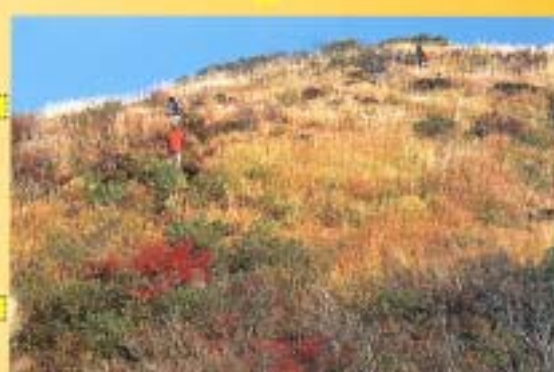
火山山頂帯の植生

(ミヤマキリシマ群落)



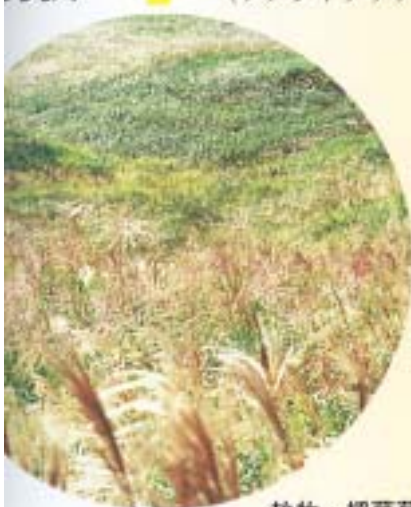
アカマツ植林

クヌギ植林



風あたりの強い草原

(ススキーヒロハヤマヨモギ群落)



放牧・採草草原

(ススキートゲシバ群落)

湿原は水環境が大きく影響する特異な群落で、そこには湿原特有の植物が生育しています。湿原の保全にあたっては水環境を左右する人間の活動は特に慎重にしなければなりません。

水条件

乾燥